後鬼所 新兵集

行くすゑ遠きの
道出て絶へのせゝらぎ
霧のうへへて過るそ
遠の帰り叫ぶの
見るのこと遠くもかの生
人をもまもるもまもる
海苔のうへ　仙川の渡り

もとやの年の角きる里をれ
柳　赤蓋のかくもり夜うか
まの水　信の山　細も流れり
東のあるみもし　過ぎて小

霧のうへへて過るそ　松堂
苔代や汚紙を屋の月
云　詩　あるもの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

瀧

[illegible]

弟

[illegible]

[illegible]

杭

[illegible]

[illegible]

仙

[illegible]

松

[illegible]

きり押さへ塔の九月八日なる
新蓮寺にて月の夜
哲哲の押へ寺や能の和
哲哲松の木に松のきし
稲一雪と降りて佐よとうみ
花をくさ寺なきを鶴なる

寺

朱に彩れる蓮もあるなり
和なる池に引しなる根ぶ
山屋絵や竹きはの小屋
放馬牡丹と紅みなり
大雲の横綱なり桜の内

新坊 ア多寺けなる

蛇

やまもあてかへてやりなきの音
度々人々あるるにや　はなを京
一つくらるるあたりをの家
踏を服を焼くるをもの地名
大きやを重たるとをの様
有限出て　輝　しや　清夜の星

仙

深林　沈や　洞の秋しき
織うみさ　まをくる　楷のこりが
似るれのらんまを　個代雪
ゆををを早くれまを宮をる
沈やをを　をを　をを
梅の　おを　おを

松

[illegible]

七四

[illegible]

特別
へ5
6590
68